

宇都宮市の皆さまへ

一緒に作ろう 新しい 宇都宮

宇都宮の可能性を解き放ち
あなたの想いをともに叶える

まちづくりプラン 政策集

Ver.1

八幡山公園

宇都宮市出身 33歳 / 元つくば市副市長

けづか^{みき}幹人^と

目次

Contents

- はじめに P.2
- プロフィール P.3
 - 宇都宮とわたし
 - 市民との対話を大切に
- みんなでつくる新しい宇都宮 P.5
 - けづか幹人が考える
まちづくりプラン【政策集】
- 皆さまの声にお答えします! P.18
 - Q&A

はじめに

新しい宇都宮、 一緒に作っていきましょう。

私は宇都宮で生まれ育ち、財務省の職員やつくば市副市長として働いてきました。これまでの経験を活かしてふるさとに貢献するため、2021年に宇都宮へ戻りました。地元でまちづくりに取り組み、宇都宮の力は工夫次第でもっと引き出せると確信して活動してきました。

一方、宇都宮で市役所には届かない市民の皆様の想いにも触れ、「多くの壁にぶつかり諦めてきた」、「宇都宮では希望が見えない」という声も直に伺い、沢山の想いが諦められていることを知りました。

私自身も宇都宮で諦めそうになった一人でした。いくら外で経験を積んできたとしても、宇都宮で活躍するには困難も多くありました。しかし、そのような困難を次の世代に残したくないと考えながら、諦めず活動を続けてきました。そして、宇都宮の可能性を解き放ち、市民の皆様の想いをともに叶えるため、更なる挑戦を決めました。

リーダー次第で市は変わります。新たな発想と丁寧な対話で、新しい宇都宮を皆様と一緒に作ってまいります。どうかお力を貸してください。

毛塚 幹人

プロフィール

毛塚 幹人 33歳



- 家族
宇都宮市出身の妻、長女（今年8月に生まれました）と三番町で3人暮らし。父母も宇都宮在住。
- 愛称
ミッキー

1991年 2月19日に長男として誕生 / 宇都宮市陽東出身
平出むつみ幼稚園 ▶ 陽東小学校 ▶
宇都宮大学教育学部附属中学校 ▶ 宇都宮高校（水泳部） ▶ 東京大学法学部

2013年 財務省 国際交渉や国会答弁作成などを担当

2017年 つくば市副市長 **史上最年少26歳で就任**
つくば市社会福祉協議会会長を兼務

2019年 フォーブス ジャパン誌
「世界を変える30歳未満の30人」政治部門で選出
※受賞同期は将棋藤井聡太氏、サッカー久保建英氏、バスケ八村塁氏

2021年 地元に貢献するため宇都宮へUターン
地方自治体の政策立案や経営支援に携わる
● 那須塩原市・さくら市 市政アドバイザー



財務省時代
各省合同の国家公務員研修



つくば市副市長時代

はじめに

プロフィール

宇都宮とわたし

まちづくりプラン「政策集」

皆さまの声に
お答えします！

宇都宮とわたし

釜川沿いなど
中心市街地活性化・清掃活動



大谷で堀さらいや
田植え等の農作業



お神輿にも参加



起業家支援の団体を立ち上げ
副会長として活動

市民との対話を大切に

まちづくりには市民の皆さまの
お声は何よりも大切であるとの
考えのもと、全25の地区で
対話集会を行いました。

次ページからは、
皆さまからいただいたお声を元に
作成した、けづか幹人が考える
まちづくりプラン「政策集」を
ご紹介します。



みんなでつくる 新しい宇都宮

けづか幹人が考える まちづくりプラン 政策集

3つの 基本方針

丁寧な対話

想いをともに叶える市政

新たな発想による都市経営

子育て

教育

高齢福祉

福祉・健康

LRTまちづくり

交通

スポーツ・文化芸術・公園

環境

経済

地域資源

女性活躍

市政改革

はじめに

プロフィール

宇都宮とわたし

まちづくりプラン「政策集」

皆さまの声に
お答えします！

子育て

子育て世代から選ばれる宇都宮へ

課題

宇都宮市は「共働き子育てしやすい街ランキング」で上位となっています。
しかし、まだ沢山の不便が残っており、真に子育て世代から選ばれる宇都宮を目指す必要があります。

政策

1 保育園の利便性を圧倒的に改善

病児保育施設を拡充

→ 現在はこどもの発熱などに対応できる施設は6か所しかありません
病児保育施設を増やして受け入れ定員を倍増させます



延長保育や休日保育の充実

保育園送迎の負担を軽減する送迎保育ステーションを増設

→ 現在は宇都宮駅東口から徒歩10分程の1か所しかありません



2 子育て環境の充実

雨の日でも遊んで学べる屋内遊び場を新設

→ 表参道スクエアにある「ゆうあいひろば」だけでは、小学生など多様な年代のこどもに十分対応できていません
→ コワーキングスペースも併設して、こどもが見守りスタッフと遊んでいる間に仕事や交流もできる環境を整備

他にも… ●産後ケアの充実 ●市の子育てアプリの使いづらさを改善 ●乳幼児健康診査を午前中や土日でも受けやすく
●ひとり親支援の充実 ●多胎家庭にも便利な子育て環境の実現
●習い事等の移動支援 ●障がいのある子どもや親に寄り添う子育て環境や教育環境を整備

政策

1 宇都宮市独自の探究学習・個別最適な学び

宇都宮市独自の探究学習の実現

- 市内の企業等と連携して、児童生徒の好奇心に応じた探究学習の体制を確立
- つくば市では地域で働く研究者と連携しながら探究学習の体制を充実させてきました
宇都宮市でも独自の探究学習を通して、これからの時代を切り拓くこどもたちを育てます

こどもの個性に応じた個別最適な学びの実現



2 放課後の充実

放課後児童クラブでプログラミング教育など最先端の学びや体験に触れられる機会を充実

3 学校給食の無償化

市立小中学校の第2子以降の給食費を無償化

地元産有機食材の活用推進

- アレルギー等で弁当を持参する場合は同程度の補助金を振り込みます
- 財政状況も踏まえながら、給食費の更なる負担軽減も今後検討していきます
同時に、給食費の負担軽減に向けて国への働きかけも行います

他にも… ●事務サポート職員の増員や業務見直しにより教員の働き方改革を推進
●不登校の児童生徒がフリースクール等を利用しやすくなる支援を新設



高齡福祉

安心して住み続けられる地域を実現

課題

高齢化が進み、来年2025年には団塊の世代の皆さまが75歳以上の後期高齢者となります。各地域で対話を重ねてきた中で、最も多かった不安の声が高齢者の免許返納後の移動の不安でした。介護を受ける本人と家族の負担を軽減する支援体制づくりも求められています。

政策

1 移動の不安を軽減

市内を巡る移動販売車により身近な地域での買い物環境を整備

→ つくば市ではスーパーマーケットと連携して、移動販売車が市内100か所以上を巡回し、身近な地域で買い物できるようにしています

高齢者外出支援事業の改善

→ 現在宇都宮市が交通系ICカード「記名式totra」へ付与している1万円のポイントは多くのタクシーで使うことができません
高齢者外出支援事業の選択肢として、タクシーのチケットを追加し利用しやすくします

免許返納後も乗れる電動三輪車や電動カートへの補助を充実

2 本人と家族を支える介護支援

介護と仕事の両立を支援し、望まない介護離職を防止

→ 介護によって仕事をあきらめる介護離職を減らすため、介護と仕事を両立できるよう取り組む企業へ支援を充実

ロボットなど先端技術の活用による介護や日常生活の支援、家族による見守りの支援

3 生涯のいきがい作り

何歳になっても学び直しと新たな挑戦ができるよう産学官で応援

希望に応じて生涯現役で働ける多様な雇用づくり



つくば市の移動販売の様子
写真：つくば市2022年11月21日
プレスリリースより



つくば市で購入費用の4分の3の
補助金を出している
電動アシスト三輪車

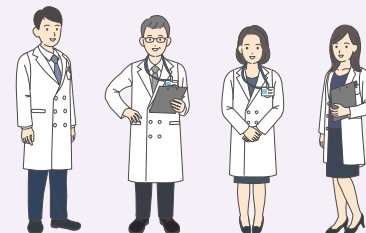


政策

1 医療体制強化

高度救命救急センター整備を県に要請

→ 多くの県に整備されている高度救命救急センターが栃木県には整備されていません
整備に向けて市としても必要な支援を行います



2 社会のバリアフリー化の推進

合理的配慮の提供を支援する補助制度

→ スロープやコミュニケーションツールなど障がい者に必要な合理的配慮を提供するため、事業者への補助金を新設

障がい者やベビーカー利用者など多様な市民に便利なバリアフリーマップの作成

障がい者や家族の意見を市政に反映

障がい者スポーツ環境の充実

障がいの有無や年齢によらず楽しむことのできるインクルーシブ公園を整備

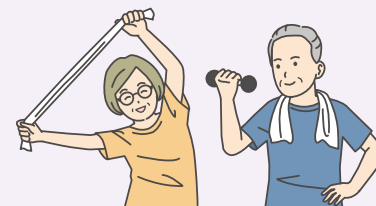
3 心身ともに健康になるまちづくり

運動習慣や生活習慣の改善をお手伝いすることで健康寿命を延伸

地域で市民がつくる、交流拠点や交流活動への補助を充実

→ 交流拠点での若者と高齢者の交流も促進して社会からの孤立を防ぎます

防災力と防犯力の向上



LRTまちづくり みんなのためのLRTまちづくり

課題

LRTを利用しやすい地域を増やし、LRT沿線に目的地となる施設を整備することで、沿線のためのLRTからみんなのためのLRTに変える必要があります。市と県で整合性の取れたまちづくりも十分にできていません。

政策

1 LRTを利用しやすい地域を拡大

路線バスや地域内交通との接続の改善、駐車場や駐輪場の充実により、LRTを利用しやすい地域を増やします

2 丁寧な対話でLRTの西側延伸と宇都宮駅西口整備を実現

LRTと東武宇都宮線の接続を実現、渋滞が多い宇都宮駅前ロータリーの状況も改善



(イメージ)



栃木県庁は県立図書館・美術館・文書館を集約して、県立体育館跡地に再整備する方針を発表しています

LRT西側延伸計画の沿線から離れた地域に施設を作ると、公共交通での訪問が難しいことに加え、中心市街地の空洞化にも繋がります

3 栃木県「文化と知」の創造拠点をLRT沿線に誘致

市と県の縦割りでなく、市が予算を一部負担してでもLRT沿線に誘致することを提案します

→ 桜通り十字路周辺、県庁前の栃木会館跡地などが候補地として挙げられます

課題

市民から移動についての不安の声が多く寄せられています。
LRT以外についても最先端の交通政策を推進することにより移動を更に便利にする必要があります。
渋滞対策についても、令和5年度市政世論調査では「宇都宮市の嫌いだと思うところ」の第2位に
「交通渋滞の多さ」が挙がっています。

政策

1 便利な地域交通

地域内交通の利便性向上

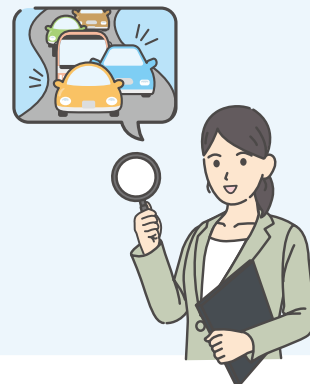
→ 宇都宮市は地域内交通という仕組みを整備していますが、行き先の選択肢が少なかったり、利用できる時間帯が短く、夕方から夜にかけてのこどもの習い事などでは使いにくいという課題もあります
市役所からの予算を増やしなが、地域内交通の利便性を向上することが必要です

2 自動運転を本格導入

→ 企業や研究機関と連携し、自動運転バスなどを実社会で本格導入します
たとえば、茨城県境町では公共交通に自動運転バスを導入しています

3 道路の整備・改善やデータ解析による渋滞対策

冠水マップ・渋滞マップを作り優先順位をつけながら改善
ビッグデータやAIを活用した渋滞対策を実施



スポーツ・
文化芸術・公園

誇りを持って住み続けたいくなる宇都宮

政策



1 スポーツ

民間投資も活用しながらバスケットボール (Bリーグ・プレミア基準対応) のアリーナを新たに建設

- 宇都宮市は2020年に新アリーナ構想を発表していましたが、
2024年10月のBリーグ・プレミア参入審査に建設の計画策定が間に合わず、当面は既存施設の改修で対応となりました
- トップセールスや宇都宮市東京オフィスの営業力強化で、バスケ以外のスポーツも含め、
プロスポーツの環境整備やスポンサー獲得を支援します

身近なスポーツ環境の改善

2 文化芸術

表参道スクエア5階で目立ちにくい立地

市民の作品展示ギャラリーやパフォーマンススペースをもっと目立つ場所へ

- 身近に市民の創作に触れられてさらに魅力を感じられる宇都宮へ

自由に路上パフォーマンスができるエリアを整備 / 学校教育とアーティストの連携を充実
ふるさと納税の活用による全国発信

3 魅力的な公園づくり

公園の遊具、健康器具や売店などの施設を充実

公園を活用するイベントが、開催しやすいサポート体制づくり



課題

宇都宮では夏の暑さをしのげる心地よい木陰が少なく、コンクリートの多い街並みとなっています。また、空き家・空き店舗が増加しており、十分に活かすことができていません。

政策

1 緑と水辺を丁寧に活かすまちづくり

- 宇都宮駅西口の再開発にあたり緑化を大幅に進め、居心地良く、温室効果ガスの吸収力も高いまちを実現します
これまでの宇都宮駅東口再開発では緑を十分活かしていません
- 中心市街地に芝生の広場を増やします
- 治水能力を強化しつつ、居心地よく人と生き物が共生できる水辺空間を整備します

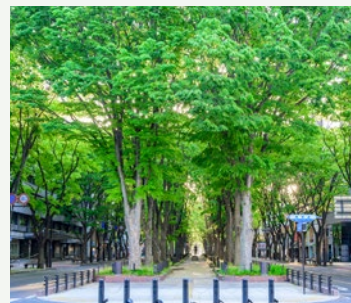
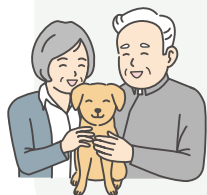
2 循環型の社会

リノベーションによる地域再生

- 宇都宮で増加する空き家問題の解消や、地域の若者の減少に対応するため、空き家や空き店舗等の改修やゴミ処分への補助を行います

3 ペットとの生活をさらに魅力的で快適に

ペットと一緒に遊びやすい公園や歩道の環境整備
災害時の避難所でのペット受け入れ環境をさらに充実
殺処分ゼロを継続



緑を活かしたまちづくり事例
(仙台市)



居心地のよい水辺空間の事例
(京都市鴨川)

経済

挑戦する事業者を選ばれ、こどもや孫が働ける宇都宮

課題

起業家などの挑戦者の支援、企業の誘致、東京オフィスの活動など、宇都宮の経済の可能性を拓げるための取り組みが現在は何れも中途半端になってしまっています。

政策

1 挑戦する事業者を選ばれる宇都宮

起業や新規事業の挑戦の拠点を新たに整備

- 現在の宇都宮市の起業家支援施設は規模や機能、宇都宮駅からのアクセスに課題があります
- 起業家や新規事業に挑戦する地元企業、地域と連携したい立地企業などが日常的に利用できるビジネス拠点を新設します
- 大規模なコワーキングスペースや会議室、交流できるイベントスペースなどを整備します
- 企業や大学と連携して最先端の知見に触れ、知的好奇心を刺激するイベントを定期的に開催します

他にも…

- 規制緩和・障壁解消／企業活動を邪魔している行政や社会の要因を積極的にヒアリングします
規制緩和や手続き迅速化などで課題を着実に改善します
- 人材確保／官民一体で移住促進やマッチングなどで企業などの人材確保を進めます
- 事業承継／後継者不足などで廃業の危機にある宇都宮の企業を事業承継により次世代に繋ぎます

CHALLENGE!



2 企業誘致 多様で魅力的な雇用を確保

- 首都直下地震等への対策として高まっている内陸への企業移転ニーズを捉えます

3 外の力を取り入れる

東京オフィスの強化

- 現在職員2名の宇都宮市東京オフィスを強化して、企業誘致、地元企業の営業支援、宇都宮出身者との連携に力を入れます

市外にいる関係人口（宇都宮市出身者など）の皆さまとの連携強化



政策

1 宇都宮に人を呼び込む

来訪される方々に宇都宮を更に満喫頂くとともに、
栃木県の観光における宇都宮のハブ機能を強化します

- ガイドの更なる充実と報酬改善
- 海外や全国への発信強化
- 高級ホテルの誘致
- ゲストハウスの誘致
- 観光データの戦略的活用
- Wi-Fiの改善



2 宇都宮の歴史を引き継ぐ

宇都宮城址公園の清明館を改修し、歴史展示機能を大幅に改善



清明館

3 未来へつなげる農業

安心して就農できる支援体制

- 独立就農の支援に加え、親元就農や雇用就農の支援も充実
地域農業の維持と担い手経営体の成長発展を後押しします

農業者の経営負担解消

- 宇都宮市独自の農業経営サポート窓口を新設します



農業体験の推進

- 農業体験や農泊などで市民や来訪者が宇都宮の食や農業の魅力に触れる機会を増やし、農業振興と地域活性化につなげます



6次産業化や輸出の支援 地産地消の推進

女性活躍

多様性を反映し、女性に選ばれる宇都宮へ

課題

女性に選ばれない宇都宮

● 若年女性 2割以上の減少予測

- 宇都宮市の若年女性人口は2050年までに2割以上も減少するという予測※が発表されています
※人口戦略会議調査（2024年）
- 宇都宮市では2015年からの5年間で約2,500人の女性が県外流出※しています
※令和2年国勢調査（県外転出13,319人、転入10,805人）

- アンバランスな人口構成は出生数の低下にもつながっています
- 2024年には20代では女性が男性より4,000人以上少ない状況です
20代・30代で見ると2020年の宇都宮の未婚男性数は未婚女性数の1.5倍です

● 全国ワースト1位 栃木県の男女の賃金格差（月10万円超え）

- 栃木県のフルタイムで働く男女の賃金格差は全国の都道府県で最も大きい状況です
- 企業内での女性管理職の割合も低いままです



都道府県別の男女賃金格差

※ 2023年度賃金構造基本統計調査より作成

順位	都道府県	男性賃金を100とした場合の女性賃金の割合
1	高知県	80.4%
44	東京都	73.0%
47	栃木県	71.0%

政策

1 宇都宮市初的女性副市長を公募

宇都宮市ではこれまで女性副市長は0人、女性部長が0人の年もある状況です
市役所の女性管理職も増やし、政策作りに女性の視点を充実

2 男女共同参画に取り組む分野横断組織の新設

子育てや介護などライフステージごとの障壁解消に取り組むとともに、
男女の賃金格差を是正

市政改革



政策

できる方法を考える市役所

1 全国モデルとなる宇都宮へ

「前例がない」と諦めることをやめます

→ AIなどテクノロジーも活用しながら
先進的な政策を切り拓きます



2 市役所人事改革

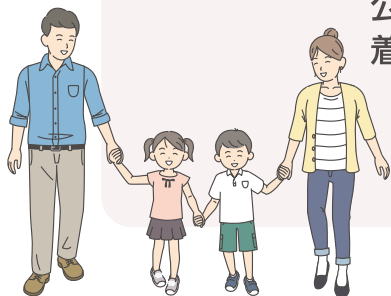
非効率な人事異動を削減

→ つくば市では人事異動を
毎年2割以下へ抑えてきました

専門人材の市役所登用を増加

3 市政の見える化

公約は毎年度進捗を公表しながら
着実に推進



市民主体の市政

1 会えるみんなのリーダー

→ けづか幹人はこれまで全25か所の中学校区で市民の
皆さまとの対話集会を重ねて政策を作ってきました
市政に生の声を反映するため、対話を何より重視し、
市民の皆さまとの対話集会をこれからも定期的に開
催し続けます

2 多選自粛

最大でも3期までとします

3 多様性の反映

女性や若者、障がい者などの
多様な目線を市政に反映します



はじめに

プロフィール

宇都宮とわたし

まちづくりプラン「政策集」

皆さまの声に
お答えします！

皆さまの声にお答えします！

対話集会を重ね、参加いただいた皆さまからたくさんのご意見を聞かせていただいております
対話集会参加者と私の質疑応答を一部抜粋し、ご紹介します

Q&A



50代 男性

財務省とつくば市で働いて宇都宮市に戻ってきたのはなぜでしょうか？

実は財務省で働く前から故郷宇都宮のために働きたいと考えていました。財務省で**行政経験を積み**、つくば市で**地方行政の実務を学ぶ**ことができ、これまでの**経験を故郷にお返しするために宇都宮に戻ってきました**。

今の時代は国の政府が地方を動かす時代というよりも、**地域で変化を起こし、地方から国を動かす時代**だと考えています。



70代 男性

33歳と若いですが大丈夫でしょうか？

まだまだ若いですが、経験も積んできました。つくば市では**26歳から副市長**を務め、4年間の任期の間、**多世代の市民の皆さまや職員と信頼関係を築きながら政策を実現**してきました。

また、**社会福祉協議会の会長も務め、地域密着で社会福祉事業にも取り組んできました**。引き続き、**若いことを強みに変えて、丁寧な対話と柔軟な発想**を大切にしていきます。



30代 女性

けづかさんは宇都宮に戻られてからどのような活動をしてきたのですか？

地方自治体のアドバイザーとして起業して**栃木県内の自治体を支援しつつ、宇都宮では地域密着のまちづくりに取り組んできました**。釜川沿いの**まちづくり団体の理事として地域活性化に取り組んだり、起業家支援の団体を立ち上げて宇都宮の挑戦者を応援**してきました。





40代 男性

市役所の政策に市民の意見をもっと反映してほしいです。
どのように改善できますか？

私は行政だけでは抜け落ちてしまう視点が沢山あると考えており、市民の皆さまからご意見を頂く機会を大切にしています。だからこそ、現在も**全ての中学校校区を巡りながら対話集会**を重ねて一緒に政策を作っていこうとしています。

市役所の政策も従来のように書面でのパブリックコメントを受け付けるだけでなく、**政策が作られる途中の段階でも市民の皆さまとの意見交換の機会を充実**させたいと考えています。さらに対面での意見交換だけでなく、**インターネットを通したアイデア募集の仕組みを整備**することにより、仕事の都合や子育てなどで対面での意見交換会に参加しにくい方もお気軽にアイデアを市役所に届けられるようにしたいです。



つくば市のまちづくりの計画に関する市民との意見交換の様子



50代 女性

こども食堂などの活動していますがボランティアの人数が集まらず困っています。市がもっとサポートしてくれるといいのですが。

つくば市の各地域にこどもの支援拠点を市民の皆さまと連携して作った際、やはりボランティアの確保が課題となりました。そこで市役所としてこどもの貧困対策に関する著名な講師の講演会を開催するなどイベントを行い、そのイベントの中で**各支援団体と講演参加者の方々のマッチング**を行いました。一つの団体ではボランティア確保が難しい場合も、**市役所がバックアップすることで官民連携により克服**していくことができます。



30代 男性

宇都宮は子育て支援が手厚いと聞いていましたが、自分の子どもは双子のため市のファミリーサポートセンターのサービス利用を断られてしまったこともありました。

不妊治療の普及の影響もあり双子の数は増えていて1970年代から2000年代にかけての30年間で双子の出生率はおよそ2倍になっているという統計があります。双子を含む多胎家庭が増えている実態を踏まえ、**市の行政サービスを見直していきたい**と考えています。また、このように社会の実態を反映して多様な家庭に寄り添う子育て支援を実現するため、宇都宮の**子育ての課題について洗い出すアンケート調査を実施して一つ一つ改善**につなげていきたいです。





私が考える
まちづくりプラン[政策集]は
対話を重ね
アップデートされます!

最新の政策はこちらから!

けづか幹人

検索

kezukamikito.jp



皆さまへのお願い

新しい宇都宮市のために、ぜひあなたの力を貸してください。

1 SNSで、けづか幹人を応援する

けづか幹人のSNSでの発信を是非ご覧ください。
また、挑戦、政策、人柄について応援メッセージをSNSに投稿していただき、支援の輪を広げていただけますと幸いです。



linktree

2 ボランティアで、けづか幹人を応援する

チラシ配り、ポスター貼りなど、数日だけ、数時間だけでも参加していただけますと助かります。
ボランティアに参加いただける方は、こちらのフォームにてご連絡ください。



ご連絡フォーム

3 寄付で、けづか幹人を応援する

お一人おひとりからの温かなご支援が必要です。
ご寄付いただける方は、右のQRコードからよりしくお願いいたします。
QRコードからはクレジットカードによるご寄付となります。
現金や銀行振込などその他の方法でご寄付いただけます際は
下記の後援会電話番号もしくはメールアドレスへご連絡ください。



選挙ドットコム 政治家情報
けづか幹人

寄付して応援する

※選挙ドットコム会員登録(無料)が必要です。

宇都宮の可能性を解き放ちあなたの想いをともに叶える

一緒に作ろう **新しい宇都宮** まちづくりプラン/政策集

発行・企画 けづか幹人後援会 幹を育てる会
宇都宮市鶴田2-22-18 2F TEL.050-1721-0286



✉ kezuka.kouenkai@gmail.com



発行日: 令和6年10月